

鳥取県・現地体験レポート

1. 活動テーマと活動概要

2018年度は、3地域共通の課題である明治大学4キャンパスでのパネル展開催に加え、活動にあたって各地域から個別のテーマが設定されました。

鳥取県を訪問した参加者は、次の個別テーマに取り組みました。

(1) 創業者・岸本辰雄先生の認知度向上

鳥取県内での岸本辰雄先生の認知度は高いとはいえ、これは2017年度の「ふるさと活動隊」が実施した現地滞在中の住民アンケートでも明らかになっています。今年度は、岸本先生の認知度向上を目的に、参加者が鳥取市立中央図書館においてパネル展を実施したほか、住民向けのクイズ企画を実施しました。(各資料は次ページ以降参照)

(2) 鳥取の魅力発信と交流拡大

首都圏の若者の視点から鳥取の魅力を探り、明治大学におけるホームカミングデーでの発表やパネル展を通じて、それらを見た人、聴いた人が鳥取を訪問したくなる情報発信を目指しました。

また、滞在中には鳥取市用瀬町でゲストハウスを営む鳥取環境大学の学生や、ワーキングホリデーのために同町に滞在している県外学生とも交流し、用瀬町の魅力向上やPR戦略について意見交換をしました。

2. 現地体験スケジュール

滞在中は、県東部を中心に視察しました。

8月20日(月) 岸本辰雄胸像前(とりぎん文化会館)で集合

鳥取市副市長との懇談会、地域の歴史レクチャー、鳥取市立中央図書館訪問

21日(火) 陶芸体験、鳥取民藝レクチャー、リノベーションによる地域づくりレクチャー、JR鳥取駅での取材

22日(水) 岩美町: クリアカヤック体験、ジオパークレクチャー
用瀬町: 県内大学生との意見交換・交流会

23日(木) 北栄町: 町長訪問、コナンロード視察
農産物レクチャー

24日(金) 県庁での活動報告



岸本辰雄胸像前の集合と市役所訪問



陶芸体験とクリアカヤック体験



岸本辰雄に関するパネル展(図書館)とクイズ企画



用瀬町での学生交流



県庁での活動報告